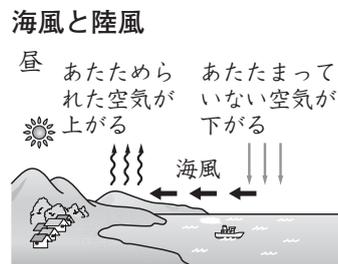


2 天気の変化

確認しよう

次の(1)~(10)の()にあてはまる言葉や数字を答えなさい。また、{ }からはあてはまる言葉を選びなさい。

□(1) 海風と陸風…晴れの日の昼、陸は海よりもあたたまりやすいため、陸上の空気が上昇し、{^①陸から海・海から陸}へと風がふく。この風を海風という。夜は、陸は海よりも冷めやすいため、海上の空気が上昇し、{^②陸から海・海から陸}へと風がふく。この風を陸風という。海風と陸風が入れかわる朝と夕方2回を(^③)という。



□(2) 谷風と山風…晴れの日の昼、あたためられた空気が山の斜面を上るように動く。この風を(^①)という。夜は、冷やされた空気が山の斜面を下るように動く。この風を(^②)という。



□(3) ()…大陸と海の間でふく、季節ごとに向きが変わる風。

□(4) ()…日本上空につねにふいている強い西風。

□(5) ()…気温や湿度がほぼ同じ大きな空気のかたまり。

□(6) 季節と天気

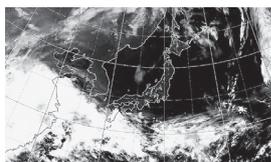
A 春の天気…(^①) (日本上空にふいている西風)に流されて、(^②)高気圧と低気圧が交ごに通過するため、天気は数日ごとに变化する。秋の10月ごろも似た天気になる。

B (^③)…雨やくもりの日が続く6~7月ごろの時期。東西に長くのびる雲の帯ができる(梅雨前線)。9月ごろも似た天気になり、この時期を秋の長雨(秋雨)という。

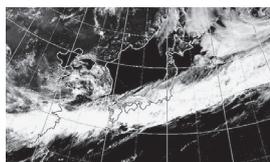
C 夏の天気…(^④)気団が発達して、{^⑤北西・南東}の季節風がふき、天気のよい蒸し暑い日が続く。強い日差して(^⑥)雲が発達して、夕立が降ることが多くなる。

D 冬の天気…(^⑦)気団が発達して、(^⑧)の気圧配置となり、冷たい{^⑨北西・南東}の季節風がふく。日本海側では{^⑩晴れ・雪や雨}の日が多く、太平洋側では{^⑪晴れ・雪や雨}の日が多くなる。

A



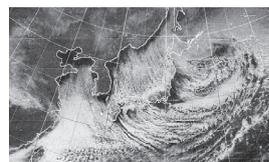
B



C

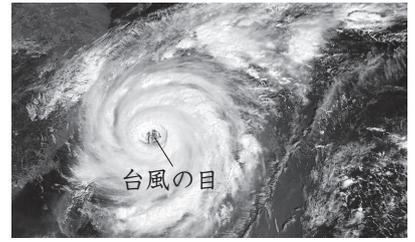


D



□(7) 台風…(^①)低気圧が発達し、低気圧域内の最大風速が(^②)m/秒以上になったもの。夏から秋にかけて日本に上陸することが多い。

- (8) 台風の構造…台風に向かって強い風がふきこみ、^{はげ}激しい
 (①)気流が生じているため、大量の雨を降らせる。
 台風の中の(②)気流が生じて雲がほとんどない部
 分を台風の(③)とよぶ。



- (9) ()…日本の気象衛星の名前。
 □(10) ()…日本全国にはりめぐらされた^{ちいき}地域気象観測システム。

整理しよう

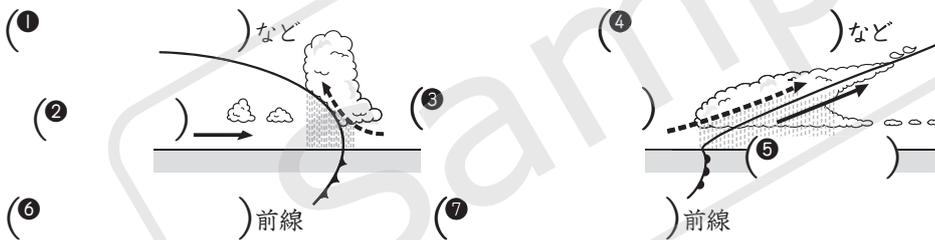
次の(1), (2)の()にあてはまる言葉を、それぞれ右の()から選びなさい。同じ言葉を何回選んでもかまいません。

- (1) 時間帯と風の向き

	昼	夜
海岸地方	(①)	(②)
山脈地方	(③)	(④)
	夏	冬
季節風	(⑤)	(⑥)

- 海風 谷風 山風 陸風
 北西の季節風 北東の季節風
 南西の季節風 南東の季節風

- (2) 前線



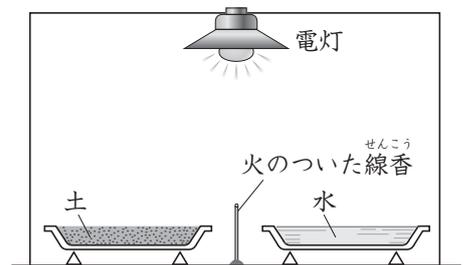
- 暖気 寒気 乱層雲
 積乱雲 寒冷 温暖
 停滞 閉そく

練習しよう

次の①の()からあてはまる言葉を選びなさい。

- ① 風のふくしくみ

風について調べるために、右の図の装置^{そうち}を用意しました。



- (1) 装置内の風…{① 土・水}のほうがあたたまりやすく、その上の空気のほうが温度が高くなって{② 上昇・下降}し、{③ 土・水}から{④ 土・水}のほうへ空気が流れる。しばらくして電灯の明かりを消すと、{⑤ 土・水}のほうが冷めやすく、{⑥ 土・水}の上の空気のほうが温度が高くなって{⑦ 上昇・下降}し、{⑧ 土・水}から{⑨ 土・水}のほうへ空気が流れる。
- (2) 線香のけむりの動き…電灯がついているときの動きを右上の図にかきこんでみよう。
- (3) 海岸地方の風の動き…右上の図と同じような状態になるのは{① 昼・夜}で、{② 陸・海}の上のほうが温度が高くなって、{③ 陸・海}から{④ 陸・海}に向かって風がふく。→{⑤ 陸風・海風}

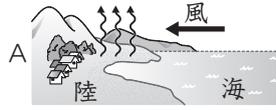


基本チェック



次の問いに答えなさい。

□(1) 図は、海岸地方での風のふき方を表しています。



① 昼の風のふき方は、A・Bのどちらですか。



② Aでは、陸と海のどちらの上の空気の温度が高いですか。

③ Bの風を何といいますか。

(1)①

②

③

□(2) 季節ごとにふく向きが変わる風を何といいますか。

(2)

□(3) 日本上空にいつもふいている強い西風を何といいますか。

(3)

□(4) 気温や湿度がほぼ同じ、空気の大きなかたまりを何といいますか。

(4)

□(5) 春のころに西から東へ通り過ぎていく高気圧を何といいますか。

(5)

□(6) 6～7月に、東西にのびる雲が日本をおおい、何日間も停滞して、雨をふらせませす。この時期を何といいますか。

(6)

□(7) (6)のころに、日本上空の東西にのびる雲をつくる前線を何といいますか。

(7)

□(8) 夏に発達する気団を何といいますか。

(8)

□(9) 夏の季節風の風向はどちらの方向ですか。

(9)

□(10) 冬に発達する気団を何といいますか。

(10)

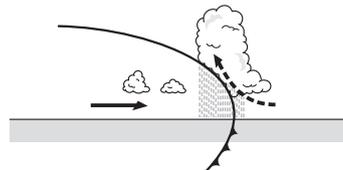
□(11) 冬の季節風の風向はどちらの方向ですか。

(11)

□(12) 冬のころによく見られる気圧配置を何といいますか。

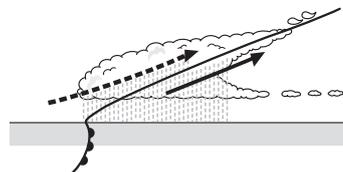
(12)

□(13) 寒気が暖気の下にもぐりこんで、暖気をおし上げるようにして進む前線を何といいますか。



(13)

□(14) 暖気が寒気の上をゆるやかに上っていくようにして進む前線を何といいますか。



(14)

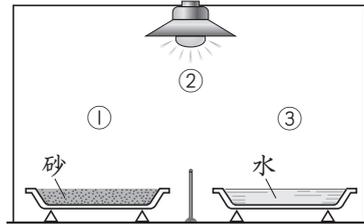
□(15) 日本の気象衛星は何とよばれていますか。

(15)

実力アップ

次の問いに答えなさい。

① 砂を入れた皿と水を入れた皿、電灯、火のついた線香を使って、右の図のような装置をつくりました。これについて、次の問いに答えなさい。



①	
②	
③	
(3)	

- (1) 電灯をつけると、水と砂ではどちらのほうが早く温度が上がりますか。
- (2) 電灯をつけてしばらくすると、線香のけむりはどのように動きますか。①～③の部分を、それぞれ↑、→、↓、←のいずれかの矢印で示しなさい。
- (3) 電灯を消してしばらくすると、線香のけむりの動きが変化しました。このとき、砂と水ではどちらのほうが温度が高いですか。

② 次の気象衛星の雲画像は、それぞれ6月、9月、12月のいずれかのようにすを表しています。これについて、あとの問いに答えなさい。

図1

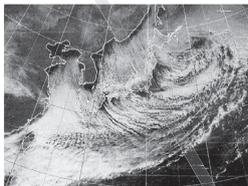


図2

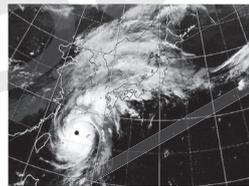
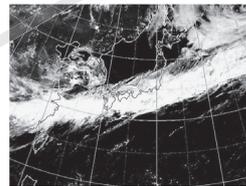


図3



- (1) それぞれの時期の気象衛星の雲画像を選びなさい。
- (2) 図2の画像にある、雲がうずをまいているものの中心には雲がないところがあります。この雲がないところを何といいますか。
- (3) 冬の天気の特ちょうとして適当でないものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 西高東低の気圧配置

イ 北西の季節風

ウ 天気が数日ごとに变化する

エ シベリア気団が発達する

(1)	6月
	9月
	12月
(2)	
(3)	